

意見書

この定例会では、次の意見書案を原案のとおり可決し、内閣総理大臣ほかに送付しました。

群馬大学・埼玉大学の再編・統合に伴う

群馬大学教育学部の存続に関する意見書

群馬大学教育学部は、永年にわたり群馬県における教員養成の中核として、群馬県の教育の発展や郷土に密着した教育の推進に多大な貢献をしてきたところである。

また、現在も多くの現職教員の研修・研究機関として重要な役割を果たすとともに教職を目指す群馬県内の生徒の進学先として大きな存在であり、地域に根ざした教員養成機関として、群馬県民の期待も大きいものがある。

群馬大学教育学部は、将来にわたり群馬県の教育文化の拠点としての役割を果たすことが一層期待されており、群馬県民の共通の財産である。

よって、国におかれては、今後、両大学の再編・統合を検討するに当たり、教育学部の在り方について、

広く群馬県民からの意見を十分に受け止め、慎重に対応されるよう強く要望する。

提出先 ○内閣総理大臣 ○総務大臣 ○文部科学大臣



(群馬大学荒牧キャンパス)

人事案件

市議会は、次の人事案件に同意しました。

人権擁護委員

吉田正彰氏

(再任)

お知らせ

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部(要旨)を掲載しています。詳しくは、図書館で会議録をご覧ください。

平成15年第1回定例会の会議録は、6月上旬からご覧になれます。また、桐生市のホームページでも、ご覧いただけます。

再生紙を使用しています。

合併関連で、二回の全員協議会を開催しました。
一月三十一日の全員協議会では、市当局から『桐生・太田合併研究会』の結果報告がありました。その内容は、新都市連携イメージについて、桐生市の将来構想についてということであり、新都市連携イメージでは、旧市町村の独自性の尊重、各総合庁舎における事務の完全処理、職員配置の地域性の重視、旧市町村の

一部裁量権などが主な内容であり、桐生市の将来構想については、道州制の進展、桐生・太田市と群馬大学工学部との連携、都市エリア産学官連携推進事業、広域関東圏産業活性化戦略プロジェクト、産業技術センター、港湾整備による物流拠点などが主な内容でありました。
次に、二月十日の全員協議会では、市当局から『太田市・尾島町・新田町・藪



(太田市役所)

1/31
2/10
全
員
協
議
会
を
開
催

塚本町任意合併協議会』への加入希望の申し出があり、議員から加入に関しての意見が述べられました。